

1/14

日本原子力産業会議とベトナム原子力委員会の原子力発電導入に係る
プレ・フィジビリティ・スタディの実施協力に関する覚書 (仮訳)

ベトナムと日本の間における平和目的の原子力科学技術分野の協力枠組みの下、
チャン・フー・ファット(Tran Huu Phat)ベトナム原子力委員会(VAEC)委員長の招請に
より、森 一久 日本原子力産業会議副会長を団長とする日本原子力産業会議(JAIF)訪
問団は1999年1月6日から11日までベトナムを訪問した。

滞在中、日本原子力産業会議訪問団は、ベトナム政府のファム・ザー・キエム(Pham
Gia Khiem)副首相の歓迎を受け、また、相互理解と信頼に基づきベトナムへの原子力
発電導入の可能性について意見交換を行なった。同訪問団はまた、工業大臣及び科学
技術環境副大臣と面談し、前述の案件につき幅広い意見交換を行なった。日本原子力
産業会議とベトナム原子力委員会の共催で催されたベトナム政府関係者及び科学者を
対象とした「日本における原子力発電の歴史」セミナーは有益で興味深いものであった。

日本原子力産業会議とベトナム原子力委員会の協力に関する可能性の討議の後、日
本原子力産業会議とベトナム原子力委員会指導部は以下の点で合意した。

- ・日本原子力産業会議は、ベトナムが1999年9月末までに原子力発電に関するプレ・フ
ィジビリティ・スタディ計画を実施し、完成させ、同レポートが検討および政策決定の
ためベトナム政府に提出されることに関して、意志確認を行なう。

- ・ベトナム原子力委員会が作成する詳細な実施計画に基づき、日本原子力産業会議の
協力項目は後日双方により合意される。

- ・日本原子力産業会議とベトナム原子力委員会は原子力発電分野のさらなる協力の意
向を表明。協力の詳細内容はプレ・フィジビリティ・スタディ計画終了後に討議するこ
ととする。

- ・ベトナム原子力委員会は原子力発電分野の人材養成に対する要望を日本原子力産業
会議に表明し、日本原子力産業会議はその要望を受諾した。詳細な養成計画は後日検
討する。

ハノイ、1999年1月9日

ベトナム原子力委員会を代表して

日本原子力産業会議を代表して

(サイン)

Tran Huu Phat

ベトナム原子力委員会委員長

(サイン)

森 一久

日本原子力産業会議副会長